

紙ごみ・3Rの減量化・資源化についての提言

平成22年11月2日

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会

22伊生第 号
平成22年11月 2日

伊那市長 白鳥 孝 様

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会
委員長 北原 文明

紙ごみ・3Rの減量化・資源化について(提言)

本委員会は、ごみの減量化・資源化のために行政その他関係機関がとるべき施策として、生ごみ、紙ごみ、3Rについて検討を進めてきました。昨年12月に生ごみの排出を限りなくゼロにするために、「生ごみの減量化・資源化」について提言をし、今回の提言については、紙ごみ・3Rについて検討を重ね、下記のとおり提言します。

これらはいずれも本委員会の総意に基づくものでありますので、速やかに、かつ適切に実施していただけるものと期待します。

記

- 1 「その他の紙」の排出誘導の推進。
- 2 古紙類の排出誘導のための啓発活動の推進。
- 3 リデュース (Reduce 発生抑制) の推進。
- 4 リユース (Reuse 再利用) の推進。
- 5 リサイクル (Recycle 再生利用) の推進。

〔提言内容の説明〕

1 「その他の紙」の排出誘導の推進について

排出の誘導のため意識付けが大切である。そのために「その他の紙」の出し方のチラシの回覧や市民ホールを活用しての展示、出し方についての工夫を募集する等、呼び名を積極的に住民にPRされたい。

また、資源物ステーションの「その他の紙」を出す場所が分かりにくいので、資源物ステーションに目立つ看板（大きい看板）を作成し、衛生自治会の役員に誘導をお願いされたい。なお、「その他の紙」の専用袋の作成は見合わせるが、他市町村の状況を調査し、今後検討されたい。

2 古紙類の排出誘導のための啓発活動の推進について

(1) ごみ・資源物の出し方ビデオを地区、企業、学校等にダビング等による活用や、どのようにリサイクルされているかの広報や広報番組を作成されたい。

(2) 子供を教育していくのが大切なので、学校で教える機会を継続されたい。

(子供エコツアーの継続、副読本の提供の継続、保育園等への説明会)

(3) エキスパートの養成をされたい。

(ごみ仕分け人、分別マイスター等の制度をつくる)

3 リデュース (Reduce 発生抑制) の推進について

(1) レジ袋の削減、マイバックの持参の促進、簡易包装の推進のため、上伊那地方事務所環境課へ郡内を統一する、事業者（販売店）と消費者、行政とがレジ袋の削減等について協議する場を設立する働きかけをされたい。

(2) マイはし等の利用の促進のため、懇親会がある会議等でマイはし等の持参を通知に入れて使用の呼びかけをされたい。

4 リユース (Reuse 再利用) の推進について

(1) 「みんなの生活展」でのフリーマーケットの開催と規模の拡大、民間レベルのフリーマーケットの開催について、場所の提供やチラシの配布等のバックアップをされたい。

(2) 幼児から中学生等の制服等のお下がり会の開催や現在、実施している譲渡会などに「お下がり」会を同時に開催することを関係課に打診されたい。

5 リサイクル (Recycle 再生利用) の推進について

(1) 布類は組成調査の結果では、約6%を占めています。回収方法やリサイクルの方法等を研究し、衛生自治会と協議して、可能な物から実施し、徐々に拡大されたい。

(2) シュレッダ処理された古紙類のリサイクルについて、混入してはいけないものや収集の際の飛散防止等の問題点も研究し衛生自治会と実施について協議されたい。